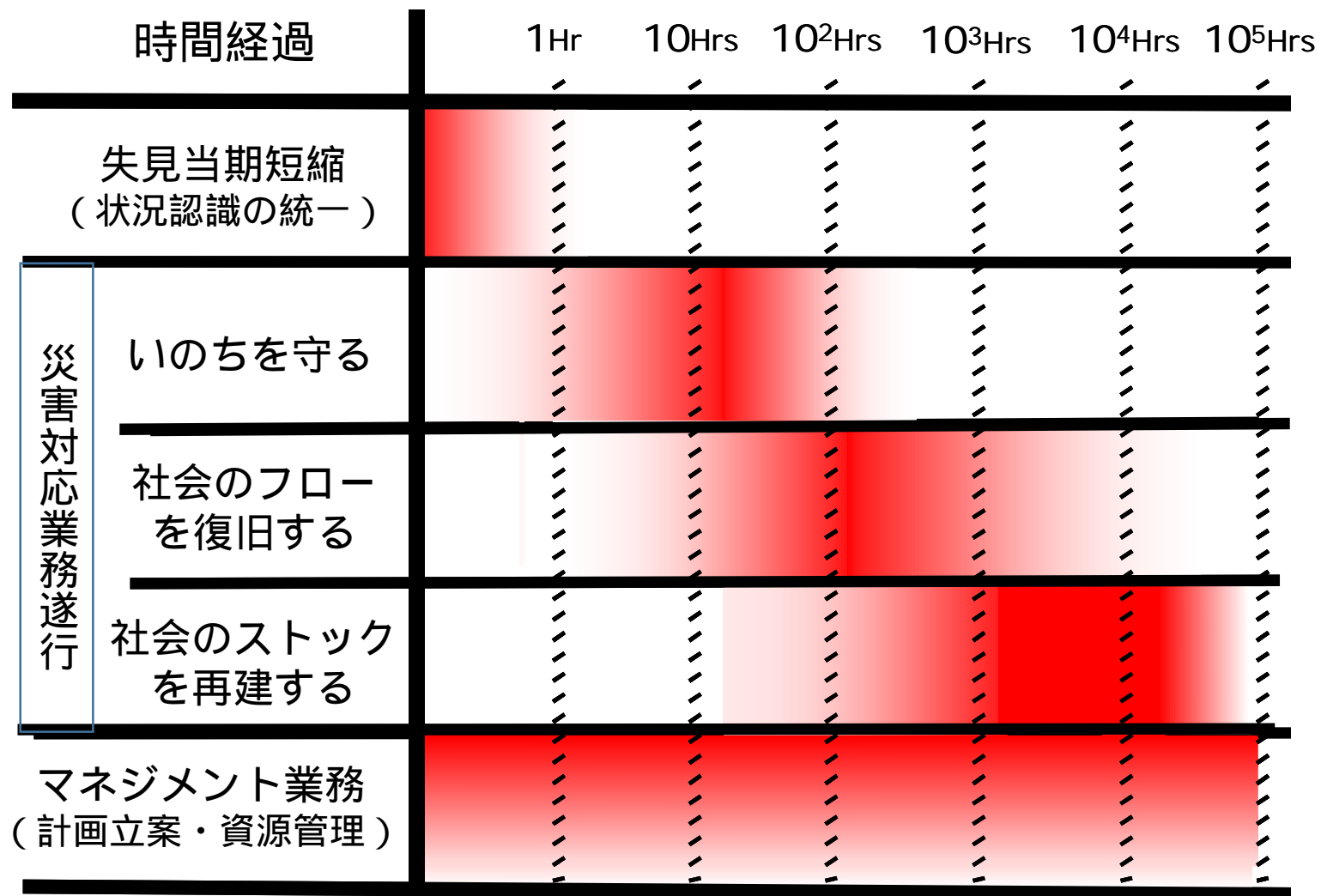


# 宇宙戦略と災害対応・防災対策の連携

新潟大学危機管理室 田村 圭子  
京都大学防災研究所 林 春男

# 災害対応過程のモデル



# 災害対応プロセスの理解

- 適切な意思決定と効果的な災害対応の実現

- 情報作戦

- Situational Awareness

- 現況を把握する

- 状況を想定する

- 事案処理

- Operation Status

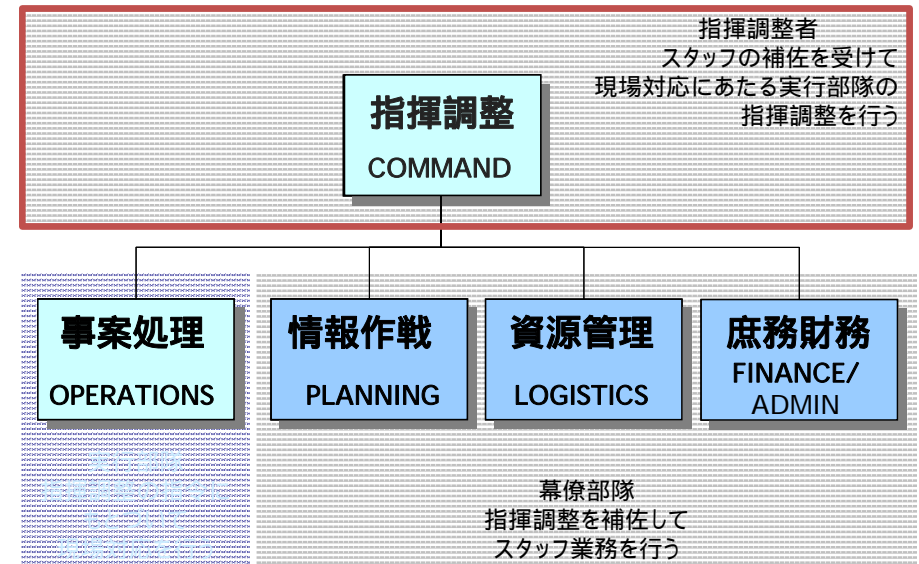
- 対応状況を把握する

- 資源管理

- Resource Management

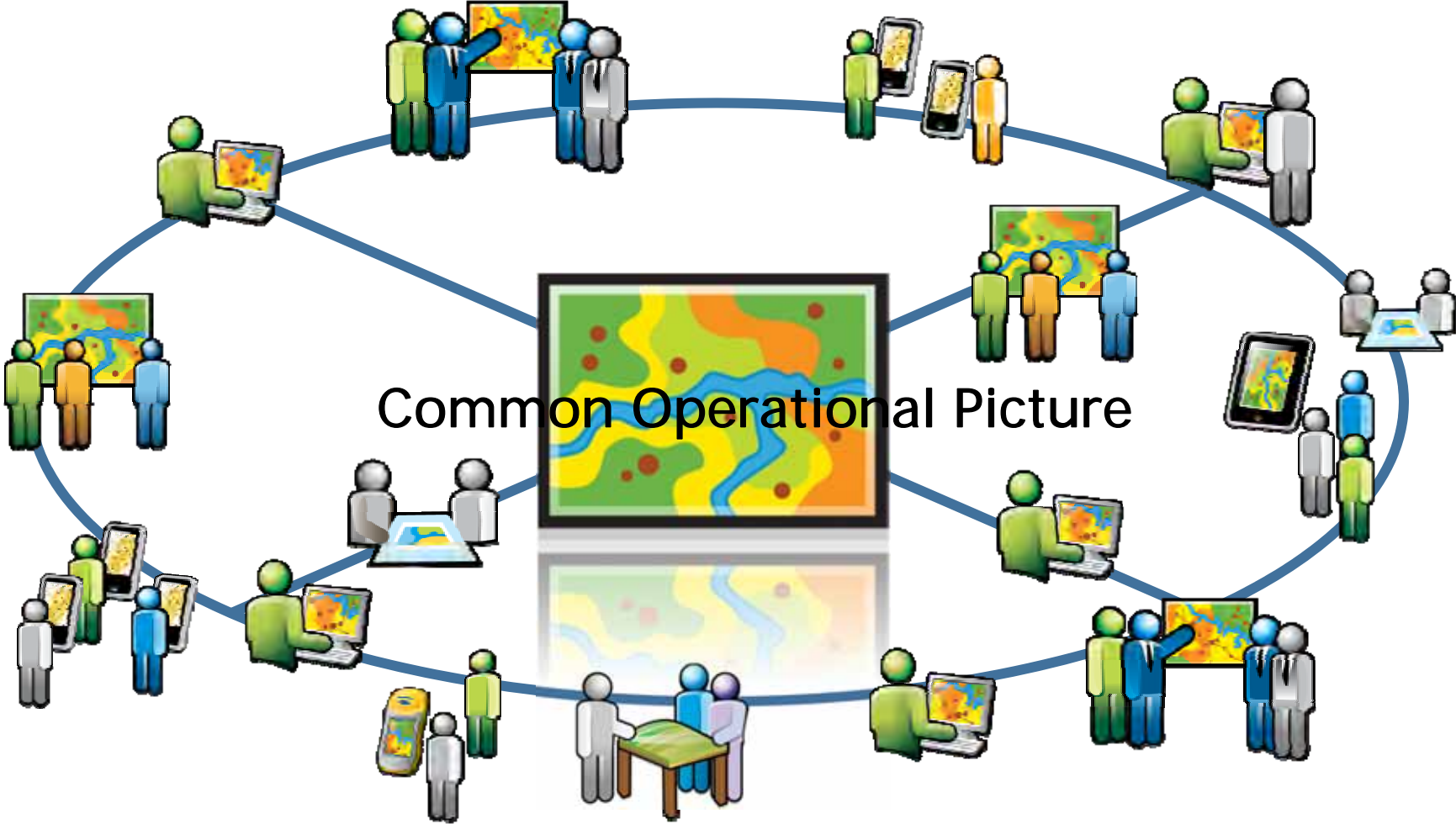
- 災害対応資源の有効活用を実現する

- 庶務財務



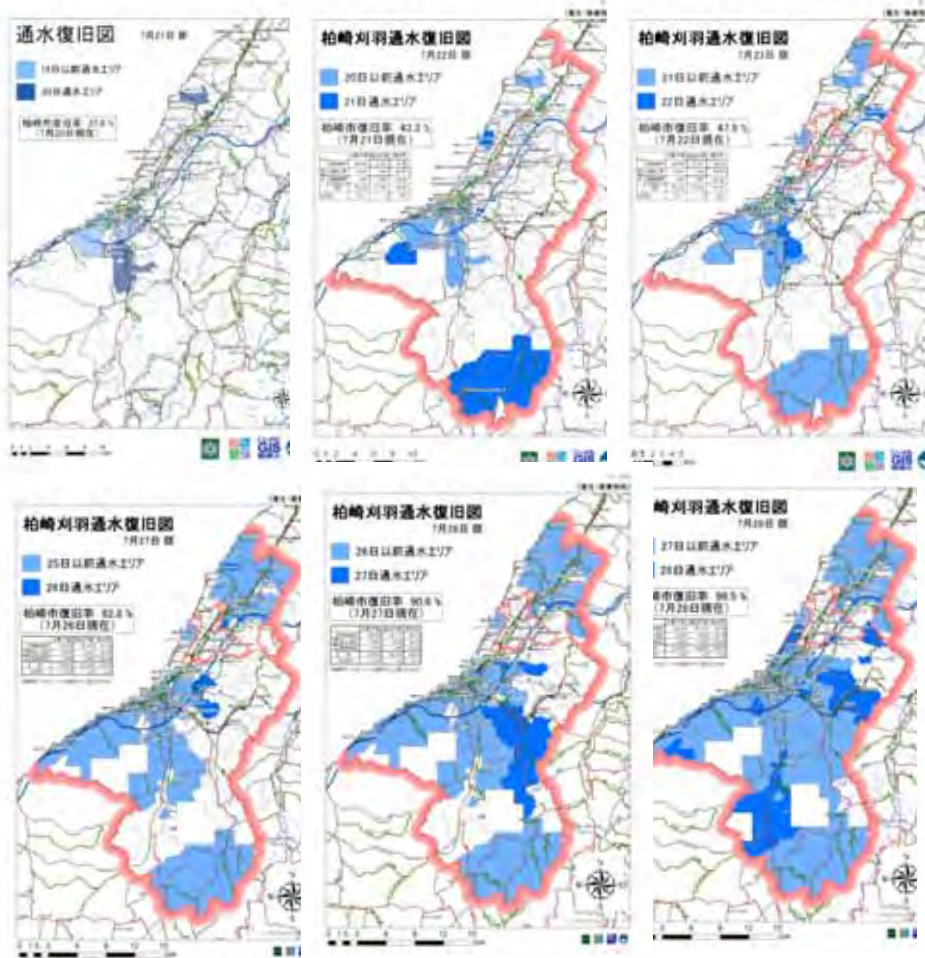
# 状況認識の統一

(Common Operational Picture)



# 新潟県中越沖地震 新潟県災害対策本部 地図作成班の活動

## 通水復旧図 (全体版)



**デジタル地図作成 被災状況に光明**

1か月間の活動終わりに『画期的だった』  
 泉田知事 活動報告に『画期的だった』

**日本最高40.9度**

The newspaper clipping features a photograph of several people working together at a table, likely members of the digital map creation team. The text describes the collaborative effort to create digital maps showing the extent of water supply restoration, which provided valuable information to disaster relief efforts. A prominent headline indicates a record-breaking temperature of 40.9°C in Japan during the period.



# Emergency Mapping Center in 内閣府

- 超広域災害の発災に係わる内閣府への支援
  - 内閣府防災担当を対象
  - 目的 地図作成による状況認識の統一
  - 目的 地図による戦略意思決定の支援



内閣府  
合同庁舎5号館  
特別会議室





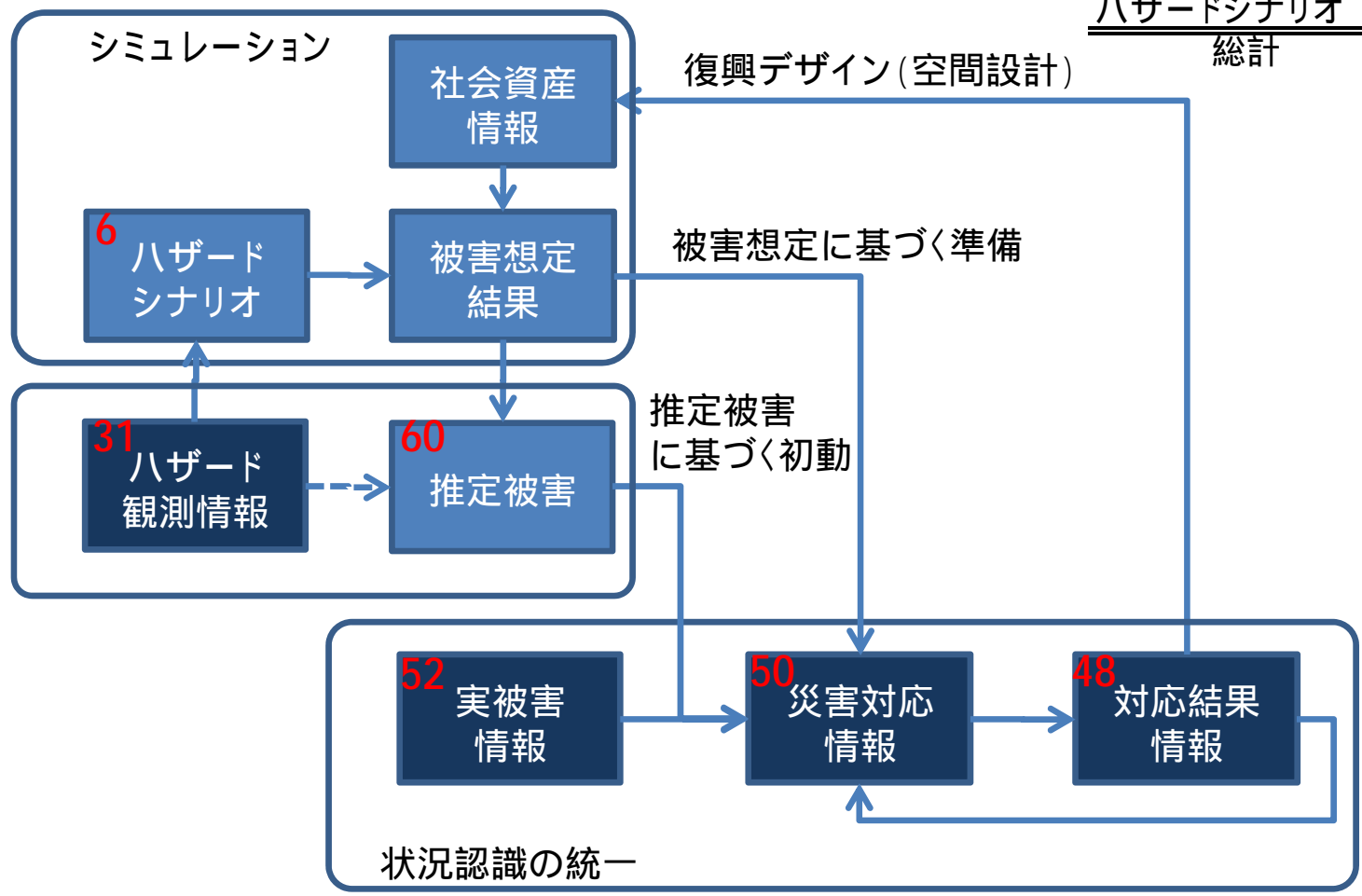
# EMTへの 参画組織

●株式会社Agoop 	●明寛G 	●京都大学防災研究所巨大災害研究センター 	●パシフィックコンサルタンツ株式会社 
●ASTEM 	●有限会社 アールツー・メディアソリューション 	●株式会社サイエンスクラフト 	●株式会社パスコ 
●ESRI 	●インクリメントP株式会社 	●株式会社 ジイケイ京都 	●兵庫県立大学 
●ESRIジャパン株式会社 	●株式会社インターリスク総研 	●地理情報システム学会 	●富士常葉大学 
●NPO法人 地域自然情報ネットワーク(GCN) 	●宇宙航空研究開発機構 	●東北大学 	●特定非営利活動法人 防災デザイン研究会 
●iForum 	●株式会社エクシード 	●デュプロ株式会社 	●本田技研工業株式会社 
●特定非営利活動法人ITS Japan 	●大阪産業大学 	●奈良大学 	●ヤフー株式会社 
●株式会社NTT-ME 	●鹿島建設株式会社鹿島技術研究所 	●新潟大学 	●横浜国立大学 
●株式会社NTTデータCCS 	●関西大学 	●パイオニア株式会社 	●酪農学園大学 
●株式会社NTTネオメイト 	●岐阜大学 	●ハイパーリサーチ株式会社 	

# 静的マップ作成状況

(3月11日～27日まで)

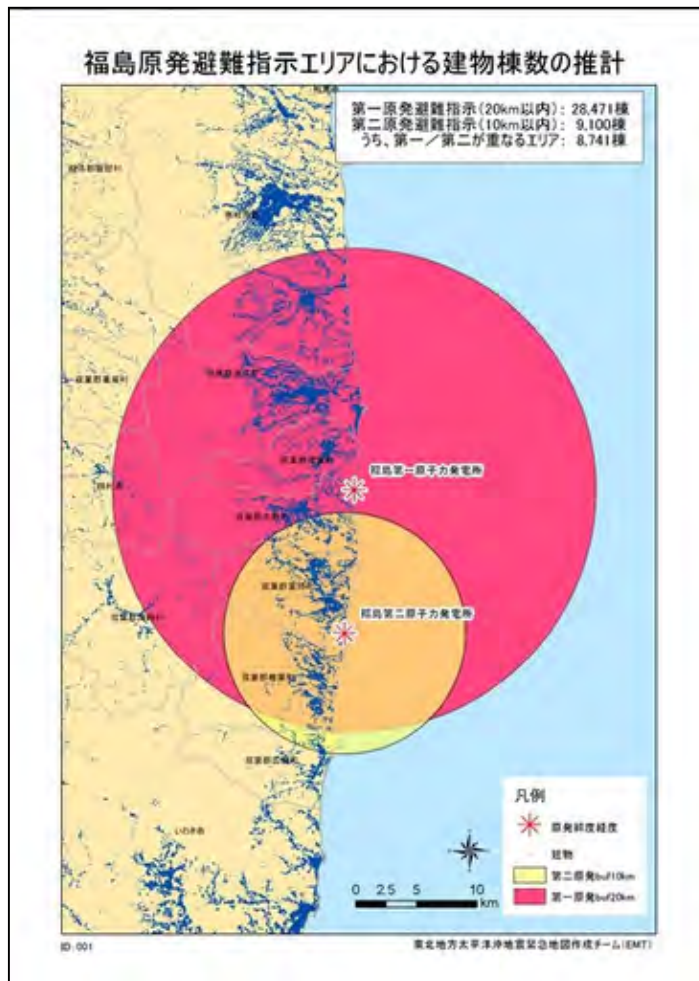
Mash-upすべき 情報種別	静的マップ 作成実績
推定被害	60
実被害情報	52
災害対応情報	50
対応結果情報	48
ハザード観測情報	31
ハザードシナリオ	6
<b>総計</b>	<b>247</b>





# 避難指示エリア等における建物棟数

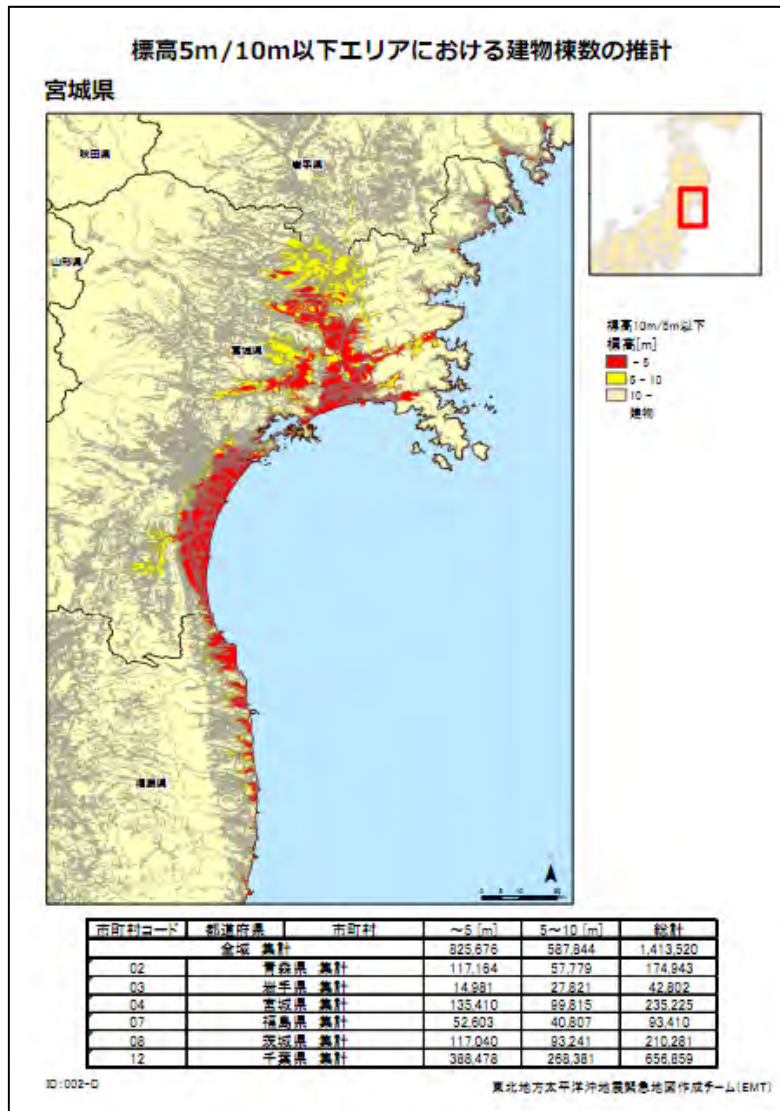
3月13日～3月18日



被害の全体像が把握に時間を要する中で、様々な意思決定を進めざるを得ない  
→十分な情報量が確保できずとも状況を可視化する必要

# 標高10m5m以下エリアにおける建物棟数の推計

3月13日～3月18日



災害復興公営住宅の必要戸数推計  
のための地図利用ニーズ(国交省)



確保された各種の情報と擬似的な  
シミュレーションによって不足分を補完